

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2693回 例会
平成29年10月13日 (金)
天候 雨
合唱 移動例会の為無し

会 長 石倉 幸久
幹 事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

社会奉仕活動・山もみじ下草刈り
雨天の為中止となりました

昨年度下草刈りの様子

会長挨拶

湯河原ロータリー創立10周年記念に植栽した山もみじの下草刈りは、雨の為中止となってしまいましたが、奉仕活動はこれからも続きますので、その日まで力をためておいてください。よろしくお願いいたします。



幹事報告

幹事報告 移動例会の為無し

連絡事項 移動例会の為無し



スマイルBOX

移動例会の為無し

出席報告	ゲスト 2名	ビジター 0名	会員24名
	欠席2(免除者1名)		前回の修正出席率87.50%
	出席率95.65%		前々回の修正出席率91.67%

事前メイクアップ 0名



米山記念奨学会の誕生
今月は米山月間に付米山記念奨学会の誕生
について記して見ました。

米山奨学事業は、日本最初のロータリー
クラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏
の功績を記念して発足しました。1952年に
東京ロータリー・クラブで始められたこの
事業は、やがて日本の全クラブの共同事業
に発展し、1967年、文部省（現在の文部科
学省）の許可を得て、財団法人ロータリー
米山記念奨学会となりました。



奉仕の人
「米山梅吉」
Yoneyama
Umekichi

米山奨学事業の記念の称号を付した米山
梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と
死別し、母の手一つで育てられました。16
歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きな
がら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、
ベルモント・アカデミー（カリフォルニア
州）ウエスレヤン大学（オハイオ州）シラ
キューズ大学（ニューヨーク州）で8年間
の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事し
ますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常
務取締役となり、その後、三井信託株式会
社を創立し取締役社長に就任しました。信
託業法が制定されると逸早く信託会社を設
立して、新分野を開拓し、その目的を”社
会への貢献”とするなど、今日でいうフィ
ランソロピー（Philanthropy*）の基盤を
作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長とな
り、ハンセン病・結核・癌研究の助成など
多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。
また、子どもの教育のために、はる 夫人
と共に私財を投じて小学校を創立しまし
た。”何事も人々からしてほしいと望むこ
とは人々にもその通りせよ”

これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身
の生涯そのものでした。”他人への思い
やりと助け合い”の精神を身もって行いつ
つ、そのことについて多くを語らなかつた
陰徳の人でした。

「今後、日本の生きる道は平和しかない。
それをアジアに、そして世界に理解しても
らうためには、一人でも多くの留学生を迎
え入れ、平和を求める日本人と出会い、信
頼関係を築くこと。それこそが、日本の
ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業
ではないか」――。

事業創設の背景には、当時のロータリア
ンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れました
が、”民間外交として世界に平和の種子を
蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫し
て変わっていません。むしろ、今日の世界
情勢と日本の置かれている状況を考えると
き、その使命はますます重要性を増してい
るのではないのでしょうか。

留学生への支援は、未来に向かって平和
の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

ロータリー米山記念奨学会は2017年7月、
財団設立50周年を迎えます。

1952年に東京ロータリークラブが始めた
この事業は、またたく間に日本全国へ広が
り、1957年には財団法人設置を前提とする
全国組織、「ロータリー米山奨学委員会」
が結成されました。1967年には悲願の財
団法人となり、以来50年、日本のロータリー
や学友が思いをつないでいます。

財団法人設立当時、年間59人だった奨学
生数は、今では約800人、累計では19,808
人となりました。

「平和日本を世界へ」――。当初のロー
タリアンたちの願いは、半世紀の時を経て
少しずつ花となり、実となっているのでは
ないのでしょうか。

* Philanthropy: 語源はギリシャ語の
「フィラン（愛）」と「アンソロポス（人
類）」から由来している。人類愛・博愛な
どと訳され、今日的には「社会貢献」と訳
される。